

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	Practical English I
科目基礎情報					
科目番号	0083		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位II: 2	
開設学科	国際創造工学科 化学・生物・環境系		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1	
教科書/教材	教科書は指定しない。				
担当教員	岡田 祐輝				
到達目標					
第1学年から第3学年で習得した英語の知識及び技術を応用し、企業や研究機関等が高専卒業生（大学新卒者）に期待する英語力の習得を目指す。また、実用英語技能検定（英検）や技術英語能力検定（技術英検）、TOEIC Listening & Reading（以下、L & R）Testなどの英語に関連した資格試験に必要な基礎的な能力（語彙、聴解力、文法力、読解力）を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	第1学年から第3学年で習得した英語力を十分に応用することができる。		第1学年から第3学年で習得した英語力を応用することができる。		第1学年から第3学年で習得した英語力をまったく応用することができない。
評価項目2	英語に関連した各種資格試験の出題形式を十分に理解している。		英語に関連した各種資格試験の出題形式を理解している。		英語に関連した各種資格試験の出題形式をまったく理解していない。
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)					
教育方法等					
概要	基礎的な英語力の構築を目指し、4技能を養成する。				
授業の進め方・方法	第1回の授業において、授業の進め方や授業内容・方法、評価割合、教科書について各担当教員が詳細に説明するので、履修する者は必ず出席すること。				
注意点	携帯電話やスマートフォンを一切使用しないこと。諸事情でP Cの使用を希望する者は事前に担当者に申し出ること。上記のことを順守しない履修者には厳しく対処する。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 配布資料	授業の進め方や授業内容・方法、評価割合を理解する。 講読と演習	
		2週	配布資料	講読と演習	
		3週	配布資料	講読と演習	
		4週	配布資料 確認テスト（1）	講読と演習	
		5週	配布資料	講読と演習	
		6週	配布資料	講読と演習	
		7週	配布資料	講読と演習	
		8週	配布資料 確認テスト（2）	講読と演習	
	2ndQ	9週	配布資料	講読と演習	
		10週	配布資料	講読と演習	
		11週	配布資料	講読と演習	
		12週	配布資料 確認テスト（3）	講読と演習	
		13週	配布資料	講読と演習	
		14週	配布資料	講読と演習	
		15週	配布資料	講読と演習	
		16週	配布資料 前期成績の確認 夏季休業中の課題の指示	講読と演習	
後期	3rdQ	1週	配布資料	講読と演習	
		2週	配布資料	講読と演習	
		3週	配布資料	講読と演習	
		4週	配布資料 確認テスト（4）	講読と演習	
		5週	配布資料	講読と演習	
		6週	配布資料	講読と演習	
		7週	配布資料	講読と演習	
		8週	配布資料 確認テスト（5）	講読と演習	
	4thQ	9週	配布資料	講読と演習	

	10週	配布資料	講読と演習
	11週	配布資料	講読と演習
	12週	配布資料 確認テスト(6)	講読と演習
	13週	配布資料	講読と演習
	14週	配布資料	講読と演習
	15週	配布資料	講読と演習
	16週	配布資料 学年末成績の確認	講読と演習

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0